

2017年7月4日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

「コウチ・アグリマネジメント・クラブ総会(日本農業法人協会 高知支部)」で講演

2017年6月30日、高知城ホールで、高知県農業会議主催の「コウチ・アグリメント・クラブ(日本農業法人協会 高知県支部) 総会」が開催され、代表の宮本泰邦が講演しました。

講演では、自社での経験を踏まえ、高知県の農業法人代表者、県・市職員、農協関係者、金融機関関係者に向けて、以下の内容を発表しました。

1. 経営理念、事業内容
2. 代表の宮本泰邦の就農までの経緯、創業から現在までの取組み
3. 当社オリジナル商品である『塩みかん』の開発について、構想から商品化、および販売に至るまでを、計画立案から補助事業の活用、営業・販路開拓、プロジェクト管理・立上げ時の課題などの農業の6次産業化に向けた取組み
4. GLOBAL GAPを認証取得するに至った経緯や目的、準備、審査、取得のメリット、取得後に生産者として実感するGAPがもたらす意識の変化を含めた経営への影響、課題および今後の目標
5. 組織運営体制、雇用方法、人材育成、人事考課、福利厚生等
6. 経営課題、今後の取組み

今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。

当社は、お客さま、お取引先、従業員とその家族全ての生活者に、みかんを通じて喜んで頂きたいの思いがあります。またみかんだけでなく、野菜・果物の新しい価値創造に努めてまいります。以上

